

令和7年度版 総合計画の進行管理及び課題管理シート（令和6年度の振り返りと令和8年度の取組検討）

施策No	521		
施策名	快適で質の高い住環境の整備		
関係課	建築住宅課、こども政策課、都市計画課、都市整備課、道路河川課、建築指導課、上下水道局下水道課		
施策の目的	● 市民がそれぞれのライフスタイルに合った住居や住み方を選択し、安全で快適に暮らせるようにします。 ● 地域の実情に応じた、公共インフラ（生活道路・雨水排水路・都市公園）を整備し、安全で快適に生活できるようにします。		

1. 進行管理  
（1）指標の実績・考察と目標年度（令和7年度）の目標値達成見込み

	指標	単位	実績基準値	実績値				見込値	目標値	最終年度（R7）の 目標値達成見込	R6年度の実績説明・考察 及びR7目標値達成見込判断の理由
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7		
a	ライフスタイルに合った良質な住宅に満足している市民の割合	%	64.1	66.7	65.7	66.3	66.2	66.5	66.5	②現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	住まいづくりに関する支援制度（木造住宅の耐震化や市産材活用等の支援制度）については、目標件数の達成には至らないものの実績を得ていることから、一定の効果が見込まれる。
b	住まいの周りの住環境に満足している市民の割合	%	37.0	36.4	39.3	37.0	39.4	39.5	39.5	②現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	住まいの周りの公共インフラ（生活道路・雨水排水路・都市公園）については、日常の維持管理・保守に加え計画的に改修等の整備を実施しており、一定の効果が見込まれる。
c											
d											

（2）構成する事務事業の昨年度（令和6年度）の取組結果

①施策関連区分A（実施計画事業）

【効果が上がった事業】							事業費（単位：千円）			効果説明
No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	R4	R5	R6	R4	R5	R6	
1	公共下水道雨水幹線整備事業	雨水幹線排水路の整備率（整備済延長/計	%	62	62.8	63.6	124765	165,686	176,338	・整備率は63.6%となり、前年度より0.8ポイント上昇した。
16	市営住宅入居者移転事業	移転対象世帯数	戸	144	133	123	34	22	27,728	・移転業務支援を行う事業者による対象住宅全戸訪問での意向調査の結果、現段階での移転先と移転の時期を把握することができた。 ・本年度移転した14名に対し、円滑に移転を実施した。 ・来年度の移転先住宅の修繕を実施した。 ・対象者全戸を訪問し、意向を聞き取り、その結果を受けて来年度移転先住宅の選定を実施し、抽選になった場合の抽選方法等を協議した。
		移転の進捗率	%	0	0	11.4				
17	市産材を活用した住まいづくり支援事業	補助件数	件		11	14	0	2,743	3,436	本年度は14件の補助申請があり、補助金の交付を行った。
26	界地区道路排水路整備事業	水路整備延長	m	0	0	243.9	3252	6,247	36,632	栃木県において、調整池の用地買収が完了したことで、調整池及び水路工事が着手となり、道路冠水対策が推進された。
		調整池	池	0	0	0				
39	市道道路冠水対策事業	整備済延長（累計）	m	286	456	709	24662	7,876	72,952	・市道1級3号線、市道犬伏135号線外、市道2級109号線の道路冠水対策工事を実施した区間において、道路冠水等の軽減を図ることができた。 ・市道堀米17号線外道路冠水対策工事の実施に向け詳細設計業務が完了し、工事の準備ができた。
42	公園施設長寿命化計画策定事業	長寿命化計画に位置づけた公園数	箇所			153	0	0	12,914	公園施設の更新計画が策定されることにより、公園施設を適正に維持管理できるようになる。
43	公園施設長寿命化事業	更新施設累計÷長寿命化計画対象施設	%	29.1	6.2	9.2	0	42,588	48,641	令和4年度は、事業実施を見合わせたことにより、効果指標は前年度同率となっている。 令和5年から公園施設長寿命化計画を改定したことにより、更新対象施設数が増加した。これにより更新割合は減少したが、更新済み施設数は増加しており、実質的に事業効果は増加した。
		（R7以降は第2期計画策定後）								
44	都市公園安全安心支援事業	バリアフリー化する施設数（累計）	箇所	11	15	19	41184	63,965	80,218	4つの公園の出入口からトイレまでの園路のバリアフリー化および汲取り式トイレを水洗化しバリアフリートイレに改修することで公園利用者の安全安心を確保できる。

【効果が下がった事業】							事業費（単位：千円）			効果説明
No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	R4	R5	R6	R4	R5	R6	

②施策関連区分B（実施計画事業以外）

【効果が上がった事業】							事業費（単位：千円）			効果説明
No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	R4	R5	R6	R4	R5	R6	
8	特定行政庁許可事務	許可等の件数	件	160	121	162	25	16	9	申請建築物に対し、交通、安全、防火、衛生上支障がない、公益上やむを得ない等の検討・判断を行い適正な許可等の処分ができた。 許可等の件数は、昨年度比33%増となり、長期優良住宅が国補助金もあって67%増となったのが主な要因である。なお、仮設建築物許可は、うち4件が令和7年4月に実施された市長市議選挙の選挙事務所であり、時節柄である。
13	公営住宅ストック総合改善事業	長寿命化率	%	34.5	40.6	53.1	54,873	57,233	121,605	長寿命化計画に基づき、改修を行うことにより、経年により老朽化した建物を将来に渡って長く利用できるようになる。
18	駅南再開発住宅維持管理事業	空室等の必要箇所の修繕割合	%	100	100	100	237	199	69,196	・日常点検等により施設の状態を把握し、必要な修繕を行った。 ・外壁・屋上防水改修工事を実施したことにより、建物の長寿命化が図られ、入居者の快適な生活に寄与をした。
		大規模修繕の必要箇所の修繕割合	%	0	0	100				
22	市営住宅入居者募集事業	新規入居戸数	戸	39	20	34	107	40	53	・定期募集、二次募集及び随時募集を実施し、指定管理者が行う入居者募集及び選考の結果を受け、対象者の入居資格調査、確認、入居決定等の事務を行うことにより、要件を満たした入居希望者のみ入居させることができた。 ・佐野市営住宅運営委員会を開催し、現状について報告を行い、委員からの意見を頂戴した。
		運営委員会開催回数	回	2	1	1				
23	マンション管理適正化推進事業	良質な住宅に満足している市民の割合	%			66.2	0	0	2	
		情報発信の回数	回			1				
25	老朽市営住宅除却事業	除却した戸数（累計）	戸	26	29	32	2,607	2,992	3,498	老朽化した空家を3戸除却し、市営住宅の適正な管理を推進した。
28	田沼地区地域排水整備事業	排水路の整備率(事業費べー	%	-	18.4	37	0	41,147	45,770	栃木県において、雨水排水路の整備が進み田沼市街地の冠水対策が推進した。
32	橋りょう維持補修事業	実施した橋梁数÷市道に架かる橋梁数	%	0.5	0.8	1.00	6,705	16,503	22,908	生活道路における住環境に必要な機能と安全性を確保することを目的としており、緊急的な補修や橋梁点検し判定Ⅲとなった橋を1橋の補修を行い、橋梁長寿命化計画の進捗率を上げることができた。
		一般市道の改良率（改良済/総延長）	%	59.9	59.9	59.9				
		橋梁長寿命化計画の進捗率	%	3.8	15.4	16.7				
33	橋りょう長寿命化事業	実施橋梁数（累計）	箇所	1	4	5	34,969	50,083	62,447	市道橋601橋について、点検し判定Ⅲとなった橋について、補修工事をを行い、長寿命化を図る。令和6年度は、2橋の補修工事をを行い、橋梁長寿命化計画の進捗率を上げることができた。
		一般市道の改良率（改良済/総延長）	%	59.9	59.9	59.9				
		橋梁長寿命化計画の進捗率	%	3.8	15.4	16.7				
45	嘉多山公園危険箇所等対策事業	補修、更新した施設数の割合（累計）	%		11.9	62.7	0	12,573	15,180	階段平場と法面との境に転落防止柵の設置、また、はらみのある石積の改修することにより、公園利用者が安全に公園を利用することができる。
47	公園維持管理車両更新事業	老朽化した車両の更新台数	台			1	0	0	4,853	老朽化した車両が更新されることにより、計画的な維持管理作業できるようになる。

【効果が下がった事業】							事業費（単位：千円）			効果説明
No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	R4	R5	R6	R4	R5	R6	
11	建築基準法第42条第2項道路整備指導事業	整備件数/(無償使用承諾書＋寄付件数)	%	43	57.1	36.1	36,439	28,723	33,632	工事による整備件数の減に対し、無償使用承諾及び寄付件数の増となったことで、過去2年より低い指標となったが、後退用地の道路整備が着実に行われたことにより、安心安全なまちづくりに寄与している。
12	建築確認事務	完了検査実施件数/確認件数	%	92	103	97	1,231	1,152	1,306	令和6年度の指標は100%にならなかったが、これは改正建築基準法令の令和7年度完全施行に対する駆け込み確認申請の増によるものである。この反動として、令和7年度は完了検査が相対的に上回ると推測される。 また、職員が講習を受講及び研修に参加することで、知識技能の維持及び更新が図られ、適正な建築確認事務につながった。

14	市営住宅家賃賦課収納事業	家賃等収納率	%	94.1	94.8	94.8	106	96	68	家賃の賦課については誤りもなく、入居者に対し不便をかけることはなかった。システムについても適正な維持管理により不具合を生じることはなかった。 また、家賃収納に努めた結果、目標値に達する見込みである。
21	市営住宅等指定管理事業	公営住宅等入居率	%	58.5	57.5	55.5	74,800	74,800	74,800	市営住宅等の入居者募集、退去手続、家賃収納業務、空室修繕、少額修繕、設備の定期点検（受水槽、消防設備等）及び入居者へのサービスを指定管理者が通年に渡り行うことで、市職員はそれ以外の業務に専念することができた。
		家賃等収納率	%	94.1	94.8	94.8				
31	街路樹維持管理事業	市民からの苦情・要望件数	箇所	9	6	15	44,561	44,612	46,030	生活道路における住環境に必要な機能と安全性を確保することを目的としており、例年どおり街路樹を計画的に維持管理することができた。
31	街路樹維持管理事業	一般市道の改良率（改良済/総延長）	%	59.9	59.9	59.9				
34	市道維持補修事業	苦情や修繕依頼を受けた危険箇所数	箇所	900	915	1031	414,284	420,555	418,571	生活道路における住環境に必要な機能と安全性を確保することを目的としており、利用者からの依頼やパトロールで発見した危険箇所はおおむね対応することができた。
		一般市道の改良率（改良済/総延長）	%	59.9	59.9	59.9				
		舗装修繕工事の実施延長÷市道の舗装延長	%	0.8	1	0.6				
35	道路維持補修事業	苦情や修繕依頼を受けた危険箇所数	箇所	1,066	1,097	1,216	12,285	12,816	8,318	生活道路における住環境に必要な機能と安全性を確保することを目的としており、利用者からの依頼やパトロールで発見した危険箇所はおおむね対応することができた。
35	道路維持補修事業	一般市道の改良率（改良済/総延長）	%	59.9	59.9	59.9				
36	道路構造物定期保守点検事業	道路橋定期点検数÷支間2m以上の道路橋	箇所	19.8	20.5	18.8	27,071	23,683	24,255	市道橋601橋について、点検し判定Ⅲとなった橋について、補修工事を行い、長寿命化を図る。 令和6年度は、2橋の補修工事を行い、橋梁長寿命化計画の進捗率を上げることができた。
		一般市道の改良率（改良済/総延長）	%	59.9	59.9	59.9				
		横断歩道橋の点検数÷横断歩道橋数	%	50	50	0				
		橋梁長寿命化計画の進捗率	%	3.8	15.4	16.7				
37	認定外道路維持補修事業	苦情や修繕依頼を受けた危険箇所数	箇所	166	145	177	8,082	17,475	12,627	生活道路における住環境に必要な機能と安全性を確保することを目的としており、利用者からの依頼やパトロールで発見した危険箇所はおおむね対応することができた。
		一般市道の改良率（改良済/総延長）	%	59.9	59.9	59.9				
38	市道道路改良事業	改良工事完了箇所	箇所	4	0	2	103,349	127,639	119,609	要望箇所の工事が完了したことで、利便性の向上と安全に利用できる道路が整備された。
		側溝工事完了箇所	箇所	0	2	1				
		舗装工事完了箇所	箇所	0	3	1				
46	公園維持管理事業	市民からの苦情・要望件数	件	297	247	250	124,383	139,148	164,658	公園の維持管理は、専門業者への委託を含め、適切な時期に適切な対応を実施することにより、市民へ安全で快適な公園を提供できる。
49	城山公園駅北駐車場維持管理事業	利用者からの苦情件数	件	0	0	1	3,589	3,564	3,762	駐車場の維持管理を委託により適切に実施した。
50	城山公園駐輪場運営事業	駐輪場利用者からの苦情件数	件	0	0	1	1,361	1,236	1,378	駐輪場を適切に維持管理し、利用者に提供した。
51	日本公園緑地協会参画事業	市民からの苦情・要望件数	件	297	247	250	50	50	50	協会から情報を収集するとともに、協会主催の研修会等に参加し、公園運営の参考とした。

（３）基本方針の取組状況

①特に実績をあげている取組（計画初年度(令和4年度)以降の取組状況）	②未着手等計画通りではない取組（及び今後の対応）
・耐震補助について、従来の補助制度に対し、令和6年度から全額市が負担する耐震診断士派遣制度に移行したことで、耐震診断実施件数が前年度比400%と大幅に伸びている。（既存建築物耐震診断・改修等支援事業）	なし

（４）令和6年度行政経営方針の取組状況

①令和6年度行政経営方針	②令和6年度行政経営方針の取組状況
・東部4号雨水幹線等の整備については、関係機関と連携を図るとともに、地元への説明を丁寧に行いながら実施する。 ・住まいづくりに必要な最新の情報を市ホームページ等により発信するとともに、市産材（木材・漆喰等）を用いて住宅を新築する方に対し、その費用の一部を支援する。 ・長寿命化計画に基づき、市営住宅の給排水改修工事及び住戸改善工事等を実施するとともに、老朽化した市営住宅の統廃合・再編に向け、対象入居者の希望等の意向を確認しながら移転を進める。 ・空き家の所有者に対し空き家バンク制度を積極的に周知するとともに、新たな物件の発掘を行いながら空き家の有効活用を図る。 ・住宅・建築物の耐震化を促進するため、広報さのや市ホームページ等による周知に加え、戸別訪問により住宅の耐震化の補助制度について直接市民へ啓発を行う。 ・生活道路の整備や維持管理を行うとともに、長寿命化修繕計画に基づき橋梁等の補修工事を行う。 ・公園施設の長寿命化計画に基づき、老朽化した遊具等の更新やトイレのバリアフリー化及び水洗化を推進する。また、第2期の公園施設長寿命化計画を策定する。	・市街地の浸水被害の軽減に向け、関係機関及び地元住民・事業所等と調整を図りながら、雨水排水路（東部9号計215.6m、東部4号雨水幹線）を整備した。なお、東部4号雨水幹線についてはR7へ繰り越しとなった。 ・住まいづくりに必要な最新の情報を広く市民に発信するとともに、市産材（木材・漆喰）を用いて住宅を新築しようとする方に対し、その費用の一部を支援した。 ・長寿命化計画に基づき、市営住宅の給排水改修工事及び住戸改善工事を実施した。また、老朽化した市営住宅の統廃合・再編に向け、対象住宅ごとに移転説明会を開催するとともに戸別訪問により対象入居者の希望等の意向を確認しながら移転を進めた。 ・空き家の所有者に対し空き家バンク制度を積極的に周知するとともに、新たな物件の発掘を行いながら空き家の有効活用を図った。 ・広報さのや市ホームページ等による周知に加え、戸別訪問及び木造住宅耐震無料相談会の実施により、住宅耐震化の補助制度利用促進について啓発を実施した。 ・生活道路の整備や維持管理を滞りなく実施した。また、長寿命化修繕計画に基づき橋梁等の補修工事を実施した。 ・公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した遊具等の更新やトイレのバリアフリー化、公園の危険箇所へ転落防止柵の設置を実施した。また、第2期公園施設長寿命化計画を策定した。

2. 課題と次年度（令和8年度）の取組

（１）課題＜環境変化や関係者の意見、要望等を踏まえて＞	（２）課題に対する今年度（令和7年度）内の取組状況、予定	（３）次年度（令和8年度）の取組（案）
①市街地の浸水及び道路冠水被害対策 ②市産材を活用した快適な住まいづくり ③市営住宅の長寿命化及び統廃合・再編による適切な管理運営 ④人口減少や少子高齢化の進展により増加する空き家等の有効活用 ⑤住宅を含めた建築物の耐震化 ⑥生活道路の整備と橋梁の長寿命化による利用者の安全性の確保 ⑦公園利用者の安全性の確保及びバリアフリー化	①前年度からの繰越工事や東部9号枝幹線築造工事（栄町）、東部14号雨水樹設置工事（栄町）等を実施するほか、大雨時の浸水被害発生に備え、内水ハザードマップを作成・公表する。また、道路冠水対策として、市道1級3号線、2級109号線、犬伏135号線外の排水施設を665m整備する。 ②市産材を活用して新築する住宅への支援として、補助金を交付する。なお、証明付き市産木材の入手が困難、申請手続きが煩雑である等の意見があるため、関係団体等に聞き取りを行い、本制度をより活用しやすいものとするよう検討を進める。 ③長寿命化計画に基づき、米山住宅5・6号棟屋上放水改修工事及び石塚住宅浴室外改修工事等を実施する。また、老朽化した市営住宅の統廃合・再編に向け、対象住宅入居者の希望を伺いながら、他の市営住宅等への移転を進める。 ④空き家等の有効活用として、昨年度実施の空家等実態調査の結果を踏まえ、利活用が可能な空家所有者に対し、空き家バンクへの登録を促すPRを行うとともに、「佐野市空き家バンク媒介に関する協定書」を締結している栃木県宅地建物取引業協会の研修会等で引き続き活用への協力を依頼する予定。 ⑤住宅を含めた建築物の耐震化として、佐野市建築物耐震改修促進計画（四期計画）の策定を開始するとともに、木造住宅耐震無料相談会の開催及び戸別訪問等による補助制度の周知を図り耐震化の向上に努める。 ⑥生活道路の整備として、改良工事4箇所、側溝工事3箇所、舗装工事1箇所整備し、維持管理は滞りなく対応する。橋梁の補修として4橋の工事、3橋の設計業務を実施し、長寿命化を推進する。 ⑦老朽化した遊具等の更新(16公園)や汲み取り式トイレのバリアフリー化(2公園)、公園の石積倒壊防止対策（1公園）を実施する予定。	①関係機関及び地元住民・事業所等と調整を図りながら、秋山3号幹線(吉水町外)等の整備を実施するとともに、道路冠水対策についても計画的に実施する。 ②住まいづくりに必要な最新の情報を市ホームページ等により発信するとともに、市産材（木材・漆喰）を用いて住宅を新築する方に対し、その費用の一部を支援し快適な住まいづくりを推進する。 ③長寿命化計画に基づき、市営住宅の給排水改修工事及び住戸改善工事等を実施するとともに、老朽化した市営住宅の統廃合・再編に向け、対象入居者の希望等の意向を確認しながら移転を進める。 ④利活用可能な空き家の所有者に対し、意向調査等をおして空き家バンク制度の周知と登録の促進を積極的に図りながら空き家の有効活用を推進する。 ⑤佐野市建築物耐震改修促進計画（四期計画）を策定・公表するとともに、戸別訪問等による補助制度の周知を図り耐震化の向上に努める。 ⑥生活道路の整備と橋梁長寿命化計画に基づく橋梁補修工事を計画的に実施する。 ⑦老朽化した遊具の更新及びトイレの洋式化等を実施する。